



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 洋介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当部長 (氏名) 木下 慎一

TEL 044-422-2061

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,628	△12.5	△29	—	△25	—	△23	—
27年3月期第2四半期	1,861	38.3	0	—	3	—	2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△6.80	—
27年3月期第2四半期	0.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,182	1,241	39.0
27年3月期	3,562	1,293	36.3

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,241百万円 27年3月期 1,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△2.6	64	△37.9	71	△40.0	50	△53.4	14.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	3,420,000 株	27年3月期	3,420,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,194 株	27年3月期	6,194 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	3,413,806 株	27年3月期2Q	3,414,049 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
受注高、完成工事高及び繰越工事高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和の継続、また原油安効果などにより企業収益や所得・雇用環境の改善が見られ、個人消費にも持ち直しの兆しが表れる一方、中国経済の減速などの影響による輸出・生産の弱含みや設備投資にも様子見姿勢が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの足踏み状態となりました。

建設業界におきましては、景気の緩やかな回復基調に伴い民間建設投資は堅調に推移しましたが、前年度の補正予算規模が小さかったことなどが影響し政府建設投資が減少したことで、全体の建設投資も減少し、また資材費や労務費などのコスト上昇が一服し工事採算の改善がみられたものの、受注競争が激しくなるなど、厳しい環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社は営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、引き続きコスト低減に取組み、受注量の確保と収益性の改善をはかってまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の受注高は、建築分野である地盤改良工事の受注は大幅に増加しましたが、土木分野である気泡コンクリート工事の受注が、見込んでいた公共工事の発注の遅れなどから大幅に減少したことにより、工事全体の受注高は1,867百万円（前年同期比0.5%減）とほぼ横ばいとなり、売上高につきましても、前事業年度からの繰越工事が少なかったことや工期のずれ込みもあり、主力の気泡コンクリート工事の完成工事高が大幅に減少したことから、工事全体の完成工事高は1,617百万円（前年同期比12.8%減）となり、商品販売を含めた全体の売上高も1,628百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

各段階の損益につきましては、施工効率の向上に取組むとともにコスト低減に注力した結果、完成工事総利益率は改善しましたが、売上高の絶対額不足から営業損失29百万円（前年同期は営業利益0百万円）、経常損失25百万円（前年同期は経常利益3百万円）、四半期純損失23百万円（前年同期は四半期純利益2百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業である建設業の特徴として、完成工事の割合が第4四半期会計期間に偏するという傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ379百万円減少し3,182百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が49百万円増加しましたが、受取手形が172百万円、完成工事未収入金が264百万円減少したことなどによる流動資産の減少によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ327百万円減少し1,941百万円となりました。その主な要因としましては、工事未払金が42百万円、短期借入金が13百万円増加しましたが、支払手形が246百万円、長期借入金が100百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ52百万円減少し1,241百万円となりました。その主な要因としましては、当第2四半期累計期間に四半期純損失を計上したことや配当金の支払いをしたことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は195百万円（前年同期は40百万円の使用）となりました。これは主に税引前四半期純損失25百万円、仕入債務の減少203百万円となったものの、売上債権の減少444百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は30百万円（前年同期は22百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は115百万円(前年同期は88百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増加13百万円となったものの、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額23百万円などによるものであります。

これにより当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ49百万円増加し、740百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想としましては、平成27年10月30日に公表しました平成28年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	690,865	740,159
受取手形	348,228	175,945
完成工事未収入金	982,128	717,382
売掛金	9,396	2,306
未成工事支出金	3,355	4,822
原材料及び貯蔵品	29,427	35,341
前払費用	15,607	12,539
繰延税金資産	13,138	11,809
その他	20,846	33,450
貸倒引当金	△158	△139
流動資産合計	2,112,835	1,733,620
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	54,182	59,711
構築物（純額）	2,024	1,812
機械及び装置（純額）	59,774	59,850
車両運搬具（純額）	3,665	2,900
工具、器具及び備品（純額）	4,421	3,600
土地	1,122,839	1,122,839
リース資産（純額）	42,815	37,321
有形固定資産合計	1,289,723	1,288,036
無形固定資産		
ソフトウェア	4,928	4,320
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	7,279	6,671
投資その他の資産		
投資有価証券	32,300	30,075
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	6,591	6,591
長期前払費用	2,739	2,967
繰延税金資産	—	3,244
敷金	12,858	13,303
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△22,006	△22,006
投資その他の資産合計	152,657	154,349
固定資産合計	1,449,659	1,449,056
資産合計	3,562,494	3,182,677

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	828,783	582,004
工事未払金	329,655	372,635
短期借入金	112,000	125,998
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	11,643	11,643
未払金	60,505	55,607
未払費用	10,851	9,144
未払法人税等	10,119	2,989
未払消費税等	31,273	16,801
未成工事受入金	634	220
賞与引当金	28,233	26,368
完成工事補償引当金	3,330	3,140
その他	4,785	1,722
流動負債合計	1,631,816	1,408,275
固定負債		
長期借入金	385,000	285,000
リース債務	33,751	27,930
繰延税金負債	1,895	—
退職給付引当金	169,210	181,360
役員退職慰労引当金	47,426	38,749
固定負債合計	637,283	533,039
負債合計	2,269,099	1,941,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	985,000	985,000
繰越利益剰余金	△108,108	△158,622
利益剰余金合計	900,941	850,427
自己株式	△1,529	△1,529
株主資本合計	1,289,011	1,238,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,384	2,864
評価・換算差額等合計	4,384	2,864
純資産合計	1,293,395	1,241,362
負債純資産合計	3,562,494	3,182,677

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,861,006	1,628,818
完成工事高	1,854,017	1,617,457
商品売上高	6,988	11,360
売上原価	1,587,291	1,355,810
完成工事原価	1,582,021	1,347,448
商品売上原価	5,269	8,362
売上総利益	273,714	273,007
完成工事総利益	271,995	270,008
商品売上総利益	1,718	2,998
販売費及び一般管理費		
役員報酬	24,409	18,777
従業員給料手当	101,781	110,639
賞与引当金繰入額	10,278	12,956
退職金	—	494
退職給付費用	5,867	5,554
役員退職慰労引当金繰入額	3,779	7,123
法定福利費	19,596	20,761
福利厚生費	809	692
修繕維持費	3,653	4,134
事務用品費	2,926	3,036
通信交通費	24,052	26,398
動力用水光熱費	3,352	3,352
調査研究費	1,093	19,414
広告宣伝費	415	207
交際費	2,201	3,261
寄付金	12	32
地代家賃	16,884	16,689
減価償却費	4,818	5,477
租税公課	8,525	9,104
保険料	892	1,018
雑費	37,470	33,510
販売費及び一般管理費	272,821	302,637
営業利益又は営業損失(△)	893	△29,629

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業外収益		
受取利息	40	61
受取手数料	143	220
受取配当金	344	335
受取技術料	7,819	7,670
雑収入	142	—
営業外収益合計	8,490	8,287
営業外費用		
支払利息	4,510	4,327
雑支出	1,664	42
営業外費用合計	6,175	4,370
経常利益又は経常損失(△)	3,209	△25,712
特別利益		
固定資産売却益	213	374
特別利益合計	213	374
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	3,423	△25,338
法人税、住民税及び事業税	2,520	970
法人税等調整額	△1,748	△3,105
法人税等合計	771	△2,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,651	△23,202

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	3,423	△25,338
減価償却費	19,147	21,762
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43	△19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,896	12,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,632	△1,865
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,779	△8,676
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,106	△190
受取利息及び受取配当金	△385	△396
支払利息	4,510	4,327
固定資産売却益	△213	△374
売上債権の増減額(△は増加)	22,633	444,117
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△5,227	△1,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,038	△5,913
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,303	△203,135
未払金の増減額(△は減少)	△167	2,781
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,651	△14,471
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,202	△414
その他	3,595	△16,702
小計	△29,640	206,174
利息及び配当金の受取額	385	396
利息の支払額	△4,334	△4,125
法人税等の支払額	△6,621	△6,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40,211	195,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,031	△31,611
有形固定資産の売却による収入	245	1,210
無形固定資産の取得による支出	△1,947	△498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,732	△30,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,000	13,998
長期借入金の返済による支出	△80,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△5,270	△5,821
自己株式の取得による支出	△177	—
配当金の支払額	△14,827	△23,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,275	△115,671
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△151,218	49,294
現金及び現金同等物の期首残高	541,211	690,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	389,992	740,159

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,648,379	87.9	1,199,714	64.3	3,154,223	86.7
地盤改良工事	227,463	12.1	667,345	35.7	481,139	13.2
その他工事	150	0.0	—	—	2,000	0.1
合計	1,875,992	100.0	1,867,059	100.0	3,637,363	100.0

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,641,727	88.6	1,146,590	70.9	3,514,277	87.2
地盤改良工事	212,139	11.4	470,866	29.1	512,354	12.7
その他工事	150	0.0	—	—	2,000	0.1
合計	1,854,017	100.0	1,617,457	100.0	4,028,632	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間末 平成26年9月30日		当第2四半期累計期間末 平成27年9月30日		前事業年度末 平成27年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	789,992	93.7	476,410	70.1	423,286	98.4
地盤改良工事	53,546	6.3	203,485	29.9	7,007	1.6
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	843,538	100.0	679,896	100.0	430,294	100.0